

資料5

Ⅱ② 経営健全化計画の完了報告の概要について

○経営健全化計画の完了報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ数
交通事業	鹿児島県	屋久島町	船舶事業特別会計	1
病院事業	北海道	赤平市	病院事業会計	3
	青森県	鶴田町	病院事業会計	5
観光施設事業	青森県	大鰐町	温泉事業特別会計	7
			休養施設事業特別会計	9
	和歌山県	串本町	国民宿舎事業会計	10

(注) このほか、平成22年度に経営健全化計画の実施状況報告を行ったが、平成23年度中に廃止された会計として、下記の1会計がある(一部事務組合の解散によるもの)。

(青森県) 公立金木病院組合 病院事業会計

# 鹿児島県屋久島町 船舶事業特別会計

## 経営健全化計画完了報告(要旨)

### 1 経営健全化計画の平成23年度実施状況

#### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入については、所要額を確保。(77,982千円)
- ・経費削減に向けた取り組みとして、船舶運営委員会を開催し、ダイヤ改正について協議を行った。更に、補助対象外経費の削減に取り組んだ。

#### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A			16,607	19,758	20,225
解消実績額 B			53,376	1,653	29,490
現在計画 C			—	—	29,490
B-A 又は C-A			36,769	△18,105	9,265
資金不足額		84,519	31,143	29,490	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

#### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		177.2	146.4	54.6	103.8	61.2	60.2	—

#### (4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・長期的な財政計画を立て、十分な基金積立準備期間を設け、将来の新船導入に備える。
- ・年度ごとに財政計画の進捗状況の点検・見直しを行い、経営健全化を着実に推進する。

## 2 今後の公営企業の経営の方針

### (1) 健全な経営の確保に関する事項

#### ①収入の増加に関する事項

- ・一般会計からの繰出金の確保を行う。
- ・使用者負担に基づく料金改定の検討をする。
- ・利用客増加への取組を行う。
- ・離島航路補助の確保を行う。

#### ②支出の削減に関する事項

- ・補助対象外経費の削減に努める。

### (2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・施設整備に係る長期計画の策定を行う。
- ・計画の点検と見直しを行う。

# 北海道赤平市 病院事業会計

## 経営健全化計画完了報告(要旨)

### 1 経営健全化計画の平成23年度実施状況

#### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・人件費等の削減については、当初計画より前倒しで実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。(1,153,192千円)

#### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画	A		168,791	△29,512	218,582
解消実績額	B		427,806	345,290	687,630
現在計画	C		—	—	687,630
B-A 又は C-A			259,015	374,802	469,048
資金不足額		1,400,741	972,935	627,645	—

区分	年度	計画最終年度 (平成26年度)
当初計画	A	256,542
解消実績額	B	—
現在計画	C	—
B-A 又は C-A		△256,542
資金不足額		—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

#### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率	実績値	81.2	67.1	51.0	68.9	32.9	58.5	—

資金不足比率	年度	計画最終年度 (平成26年度)
		計画値
資金不足比率		11.6

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・現状において、収支改善が十分図られており、当面は現状の経営形態を継続する。

**2 今後の公営企業の経営の方針**

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 医師の確保と定着に努め、信頼される医療機関としての充実を図る。
- ・ 透析センターの送迎サービスの充実等により、更なる収入の確保に努める。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 現状の職員適正配置を継続し、収支のバランスを堅持する。

③ その他

- ・ 繰出基準を基本とした、一般会計からの計画的な繰入れを実施する。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 地域医療の安定的かつ継続的な提供を目指し、現在の診療科の維持と患者サービスの更なる向上に努め、市民に選ばれる病院としての充実を図る。

## 青森県鶴田町 病院事業会計

### 経営健全化計画完了報告(要旨)

#### 1 経営健全化計画の平成23年度実施状況

##### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・病院事業のつがる西北五広域連合への移管が前倒しとなったため、計画では平成25年度に第三セクター等改革推進債を活用した一般会計からの繰入により資金不足を解消することとしていたが、2年前倒しで実施(970,000千円)することにより資金不足を解消し、会計を廃止した。

##### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		61,000	52,000	75,000
解消実績額 B		66,991	47,609	634,598
現在計画 C		—	—	634,598
B-A 又は C-A		5,991	△4,391	559,598
資金不足額	749,198	682,207	634,598	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

区分 \ 年度	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A	479,198
解消実績額 B	—
現在計画 C	—
B-A 又は C-A	△479,198
資金不足額	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		61.7	62.4	63.7	56.6	76.3	49.9	—

資金 不足比率	年度	平成 25 年度 (第 5 年度)
		計画値
資金不足比率		—

# 青森県大鰐町 温泉事業特別会計

## 経営健全化計画完了報告(要旨)

### 1 経営健全化計画の平成23年度実施状況

#### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・経費の削減については、各種補助金等を活用して、施設の計画的なメンテナンスを行い、当初計画どおり維持管理費を抑制。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。(99,000千円)

#### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		77,105	67,491	64,838
解消実績額 B		77,862	70,383	101,587
現在計画 C		—	—	101,587
B-A 又は C-A		757	2,892	36,749
資金不足額	249,832	171,970	101,587	—

年度 区分	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A	40,398
解消実績額 B	—
現在計画 C	—
B-A 又は C-A	△40,398
資金不足額	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。



### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	1,441.8	997.3	962.2	999.2	823.3	349.2	—

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)
	計画値
資金不足比率	—

### (4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 料金の改定等について温泉利用協同組合等との協議を継続中。

## 2 今後の公営企業の経営の方針

### (1) 健全な経営の確保に関する事項

#### ① 収入の増加に関する事項

- ・ 料金の改定等について温泉利用協同組合等との協議を継続する。
- ・ 一般家庭供給を増やすことにより料金収入の増額を図る。

#### ② 支出の削減に関する事項

- ・ 施設の計画的なメンテナンス等により維持管理費の抑制を図る。
- ・ 大規模改修については、計画的に整備を図る。

#### ③ その他

- ・ 大規模改修に当たっては、料金改定等を含めた計画を策定することにより資金不足を生じさせない。

### (2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 民営化・委託等、合理的・効率的な運営形態を検討する。

# 青森県大鰐町 休養施設事業特別会計

## 経営健全化計画完了報告(要旨)

### 1 経営健全化計画の平成23年度実施状況

#### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計からの繰入れについては、資金不足解消に必要な所要額を実施することにより当初計画どおり資金不足を解消し、会計を廃止した。(76,126千円)

#### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		31,751	64,053	230,152
解消実績額 B		30,193	272,001	23,762
現在計画 C		—	—	23,762
B-A 又は C-A		△1,558	207,948	△206,390
資金不足額	325,956	295,763	23,762	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

#### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	316.1	252.4	274.3	※	※	—	—

※ 平成22年度は、おおわに山荘の営業休止により事業規模が0(ゼロ)のため、資金不足比率は算定されない。

# 和歌山県串本町 国民宿舎事業会計

## 経営健全化計画完了報告（要旨）

### 1 経営健全化計画の平成23年度実施状況

#### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・当計画では、平成20年度決算時に194.1%であった資金不足比率を、一般会計から繰入れ（329,082千円）を行うことによって0%にする計画としている。
- ・早期に経営健全化基準である20%以下とするため、平成22,23年度に集中的に繰入れを行うことによって、平成23年度に同基準以下とし、平成24年度に0%とする方針とした。
- ・平成23年度は、資本的収入に17,718千円、収益的収入に118,099千円、合計135,817千円の繰入れを行った。
- ・平成22年度末で122,999千円であった資金不足額が112,387千円減少して10,612千円となり、平成22年度決算時に124.9%であった資金不足比率が、経営健全化基準を下回る10.3%に減少した。

#### (2) 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画A		15,935	18,501	18,501	18,501
解消実績額B		21,076	18,722	112,387	—
現在計画C		—	—	112,387	10,612
B-A又はC-A		5,141	221	93,886	△7,889
資金不足額	162,797	141,721	122,999	10,612	—

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画A	18,501	18,501	22,350	32,007
解消実績額B	—	—	—	—
現在計画C	—	—	—	—
B-A又はC-A	△18,501	△18,501	△22,350	△32,007
資金不足額	—	—	—	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	194.1	175.1	212.7	153.1	124.9	131.0	10.3

年度 資金 不足比率	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	108.9	86.9	64.8	38.2	—

### (4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成22年度より新たな指定管理者により国民宿舎の運営を行っている。
- ・指定管理者に毎月業務報告を行わせ、経営状況を厳しくチェックし、適正な業務運営の確保及びサービス水準の維持向上に留意し、経営基盤強化に努める。

## 2 今後の公営企業の経営の方針

### (1) 健全な経営の確保に関する事項

#### ①収入の増加に関する事項

- ・平成30年度まで続く企業債の償還金のほか、修繕負担金等に対する一般会計からの繰入金を確保していく。

#### ②支出の削減に関する事項

- ・企業債の償還金については平成27年度より減少し、平成30年度に償還が終了する。

#### ③その他

- ・引き続き指定管理者による経営を行い、平成24年度に全ての不良債務の解消を図る。

### (2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・指定管理者による経営の状況を厳しくチェックし、適正な業務運営の確保及びサービス水準の維持向上に留意し、経営基盤強化に努める。